



発行者 南河学園

発行責任者 園長 伊山喜二

TEL (072) 975-2200

FAX (072) 975-2224

http://www.nankagakuen.jp

Eメール: info@nankagakuen.jp

広報委員会



理事長 伊藤正順

年度当初にあたりご挨拶申し上げます。当法人に対し日頃よりのご支援ご協力に感謝しお礼申し上げます。新型コロナウイルス感染拡大の波は止むことなく、大阪の医療状況も逼迫しており世界的感染も2億人に迫る勢いです。変異株も多種にわたり若年層にも重症化の恐れ



常務理事 園長 伊山喜二

温かい春の風が吹き大変過ごしやす季節となりましたが、皆様方におかれましては、いかがお過ごしでしょうか。本園では3月に5名の退園生を送り出しました。学校を卒業し家庭から高校へ進学する者、就職しグループホームや一人暮らしをして社会人になる者

があるとの報告があり早急なワクチン接種が望まれる中で、ようやく自治体でのワクチン接種が始まりましたが、全体に行き渡るにはまだまだ時間がかかりそうです。一方で子ども達の生活は、学校の授業や行事の様々な変容による新たな教育格差の問題やストレスが蓄積され不登校児やうつ症状、更には小中学生の自殺数が増加するなど多岐にわたりその影響を受けています。大人達でもコロナ感染拡大防止策の様々な対策で制約を受け倒産件数も増え失業者も4万人を超えました。就職先や収入の減少は心身の健康にも悪影響を

それぞれの新しい人生がこの春から始まりました。世間では新型コロナウイルスの話で持ちきりでありますが、本園の児童、職員共に感染は無く、なんとか抑えられております。しかし、いつ何時広がるか分からないこの状況に不安でいっぱいであり、学園行事だけでなく、ご招待頂く多くの行事やご慰問も昨年度はほぼ中止であり、児童らには大変我慢をさせております。第1波、第2波と何度もやってくる感染拡大に職員一丸となって、まずは自分たちが手本になろうと意識して行動し、児童らには『手洗い・うがい・消毒・

期待に胸を膨らませて

入園・入学お祝い茶話会 4月3日に、入園、入学する18名の児童(こども園園児1名、小学生5名、中学生8名、高校生4名)のお祝い会を行いました。一人ひとりの名前が呼ばれ、お祝いの品が園長から手渡されました。児童は、こども園で使うカバンや学校で使う文房具を受け取り「かわいい」「見てみて、僕のこれ」と笑顔が溢れていました。



文房具を受け取って

次に、それぞれ入園、入学後の目標を発表しました。こども園園児と小学生は挑戦したい事、頑張りたい事の絵を描き、大きな声で発表しました。小学生の中には、「鉄棒で逆上がりを頑張りたいです」とやる気満々に発表する児童

トピックス

- 1面
 - ・理事長・園長挨拶
 - ・入園・入学茶話会

- 2面
 - ・退園式・答辞

3面
児童へのインタビュー
特集『学校の思い出』
『入学への抱負』

- ・新任職員紹介
- 4面
2月・3月の行事
慰問・寄贈一覧
バックナンバーは
↓こちらから



決意を文字に表して

この行事は『令和2年度NHK歳末たすけあい配分金』で行われています。ありがとうございます。

その後はジュースとおやつを食べながら、もらったお祝いのカバンを実際に背負ってみたり、素敵な筆記用具にうっとりしたり、新たな生活へ向けて、期待に胸を膨らませました。

それぞれの思いと共に

3月16日に、退園式を行い5名の児童と別れを惜しみました。長い児童は幼児から15年以上ここで生活をしました。理事長並びに附属国分保育園長、副園長に合わせ、中学校の先生方16名が退園式に参列して花を添えていただきました。

今年高校3年生3名と中学3年生2名のお別れでした。

退園生の紹介に合わせて幼い頃の写真が映し出され、懐かしさが胸にこみ上げ、思わず司会者の声もつまりがちになります。各支援団体からは記念品や祝い金が贈呈され、退園生を激励しました。

園長は式辞で「社会に出ると失敗はつきものである。しかし、失敗しても大きな声で謝ることが大切である」と教えました。理事長

答 辞 (抜粋)

(前略) 私は、15年前、3歳の頃にお姉ちゃんと一緒に学園に生まれました。当時の事はほとんど覚えていませんが、あまり喋らず、「Mちゃん」と呼ばれて、皆から可愛がられていたと聞きました。

小学生の頃は、壁に落書きをしたり、就寝後に喋ってよく先生に叱られていました。その頃の出来事で、特に思いに残っているのは、観光園でのデイキャンプです。アユ掴みと串刺しをしたのが楽しかったです。

途中、お姉ちゃんが退園しました。今もそうですが、当時はとてもお姉ちゃんが大好きで、退園式

は祝辞で「事情があつて保護者と離れてここで生活したが、人は一人で生きていくのではない。他者と共に生きている、共生に感謝しなさい」また、校長先生からは「チロ―選手の「小さい事を積み重ねることが、とんでもないところへ行くただ一つの道」という言葉が紹介されました。

退園生が来賓に感謝の花を届けると中学校の先生方から温かい言葉が掛けられ、思わず双方の頬に

の日に大泣きしたのを覚えています。友達とケンカした時、お姉ちゃんがいつも話を聞いてくれて助けてくれていました。そんなお姉ちゃんがいなくなると考えて、とても寂しい気持ちでいっぱいでした。

中学生になると、貧血を起こし体調を崩して、よく学校を休むことが増えました。それでも周りに勧められて、やったことの無いパドミン トン部に入り、練習や試合に出て三年間続けることが出来ました。そんな中勉強は苦手で、よく手紙や宿題などの提出物を忘れて、懇談の時に担任の先生や学園の先生に、叱られていました。

そして、高校に行つてすぐ、友

涙が流れました。



思い出を言葉に

「夢や目標は逃げない。逃げるとしたらそれは自分の方である」の言葉を胸に刻んで、新しい一歩を踏み出して欲しいものです。

退園式後は、食堂と多目的ホールの二か所に分かれ退園パーティーを開きました。退園生の門出を祝

思い出を胸に 新しい生活へ

達とのトラブルや、法に触れるような事もあって、何度も指導を受けました。それでも先生の言う事を聞かず、反抗したり無断外出をして、学園に帰らない日もありました。

い乾杯をして、寿司や唐揚げなどが盛り付けられた弁当を食べました。締めくくりに退園生から「今までありがとうございます」とお礼の言葉と、在園生に向けては「僕らも頑張るんで、みんなも頑張ってください」とエールが贈られました。最後にみんな楽しんで食事できて良かったです。



笑顔の旅立ち

が、お喋りな性格の私は何でも周りの人に喋ってしまいその後トラブルになりました。

担当の先生を始め先生方には、数え切れないほどいっぱい心配をかけました。その時は、先生方の気持ちの一つも分らず、自分の事しか考えられませんでした。全て私の為にやってくれているのに、反抗して嫌な思いばかりさせたと思います。そんな私も春から社会人になりました。高校の職場実習では、なかなか上手いはずなのに就職も決まるのが遅かったです。しかし、最後の実習で、無事に就職の内定が決まりました。実習中もたくさんの学園の先生が励ましの声を掛けに来

子どもキャンディー



『11歳のぼん』

3歳 男児

てくれたことに、とても感謝しています。(・中略・)

最後になりましたが、勉強が苦手な私に根気強く教えてくれた中学校の先生、顔を合わせたら毎回笑顔で声を掛けてくれた保育園の先生、トラブルを沢山起こす私に真剣に向き合ってくれた学園の先生、小さい時から一緒に過ごした学園のみんなには、感謝の気持ちでいっぱいです。これから辛い時やしんどい時には、学園での生活を思い出し、私も仕事を頑張ります。(後略)

退園生代表 M



お別れ

たくさんさんの思い出

幼稚園は男児2名、女児4名が2年間お世話になった幼稚園を卒業しました。卒園式を終えて、「幼稚園の先生と別れるのが寂しい」「小学校へ行っても頑張りたい」と話していました。先生方との別れに涙し、抱きしめてもらったり、「がんばってね」と言葉を掛けてもらったり、仲間の大切さや別れる辛さを身に染みて感じたようです。

小学生は男児4名、女児3名が6年間お世話になった小学校を卒業しました。ある女児の一番の思い出は、5年生の時に行った林間学校で、理由は「カレー作りをしてとても美味しく出来て嬉しかったから」と話していました。「冬のマラソンで、寒い中を走り、しんどかった」と嫌だった思い出まで話してくれました。特に修学旅行の時の思い出が深い児童が多く、

出会い

新しい学校生活

高校1年生男児の頑張りたい事は、課題提出、単位を落とさず進学する事。やりたい事は、飲食店でアルバイト。中学の時に出なかつた言葉が出て成長を感じました。高校1年生女児の頑張りたい事は、クラブ活動。やりたい事

「遊園地に行けて嬉しかった」や「友だちと遊んだり、喋ったりしたことが楽しかった」と話していました。話が尽きない程、6年間であった良い思い出を語ってくれました。

中学生は、男児4名、女児2名が3年間お世話になった中学校を卒業しました。思い出を聞くと、「1番に出たのは「たくさんさんの友だちができたこと」でした。今年の卒業生は振り返れば、林間学校や体育祭、校外学習など行事の度に雨に悩まされる事が多かったそう

3月に卒業、卒園した児童は19名。
4月に入学、入園した児童は18名。

卒業、そして入学と節目を迎えた児童にインタビューをしました。幼稚園、小中学校の思い出や高校生活、これからの目標など、それぞれの気持ちを語ってもらいました。

合わせて今年度就職した新任職員3名に自己紹介をしてもらいました。

新任職員へのインタビュー項目は…

- ①名前②休みの日の過ごし方や趣味③好きな食べもの・苦手な食べ物④特技、学生時代に打ち込んだこと⑤意気込み

です。修学旅行はコロナ禍で実施されないのではないかと、児童たちも思っていました。その中、内容を変えての実施が決まり大喜びでした。泊まったホテルでふざけ合って遊んだ時間は思い返しても笑顔であふれるほど良い思い出になったようです。



① 高橋大和 (たかはしやまと)

- ② 基本的には一日中家でどのんびり趣味はダンス・ギター・服屋巡り・音楽鑑賞
- ③ 好きな食べもの…寿司・お肉 苦手な食べもの…たけのこ

ナス・セロリ・大根(生の大根は食べられません)

④ サッカー(小6〜高3まで続けていました。)

ダンス(大学からで、大学のイベント、地域のイベントに参加していました。)

⑤ 社会人1年目ということで、まだまだ分からない事が多く迷惑をかけてしまうかもしれませんがみなさんの足を引っ張ることのないよう精一杯仕事に打ち込みたいと思います。よろしくお願ひします。



① 村山優華 (むらやまのうか)

- ② ゲームや録画番組を観ることが多いです。通信販売などいいなと思うものをみています。
- ③ 好きな食べもの…納豆、明太子、味噌汁 苦手な食べもの…梅干し、トマト、こんぶ
- ④ 中学高校とソフトテニス部でした。土日も部活動があり、ソフトテニスを楽しんでいます。
- ⑤ 体調を崩さない体質なのでずっと元気で頑張ります。子ども達と一緒に成長し、楽しんで過ごします。



① 山本七海 (やまもとななみ)

- ② 友達と遊びます。予定が無い日は寝ます。
- ③ 好きな食べもの…お寿司 嫌いな食べもの…ピーマン
- ④ 中学、高校とバレー部で毎日部活を頑張っていました。
- ⑤ わたしは子ども達と一緒に笑ったり喜んだり、気持ちを共有しながらたくさん愛情を注いでいきたいです。そして、子どもと一緒にわたし自身もしっかり成長していきたいです。

久しぶりのお茶席

お茶席招待

2月28日に柏陽会の皆様よりお茶席に招待いただき、児童7名が参加しました。児童から「前のお茶席の招待いつやった？」と話題に上がるほど、久しぶりの招待にワクワクしている様子でした。

甘い甘いお返し

ホワイトデーお菓子作り

3月13日と14日に、ホワイトデーのお菓子作りをしました。参加した男児は、湯煎してチョコを溶かしたり、ホットケーキミックスを混ぜてはこねてクッキーの生地をたくさん作ったりと奮闘している様子でした。しかも荒々しい男の料理となるのではなく、形も味も整った可愛らしいお菓子が出来上がっていきます。出来上がるといくつか味見し、「おいしいな」と我ながら上手くいったという表情で、「誰に渡すかも考えてるねん」と手際よく袋に詰めて、照れくさそうに配りに行きました。



クリームで飾られ、チョコチップで彩られた男児手作りのプリン

いつもは大きいお椀でお茶を飲んでいましたが、今回は、一人用のお椀で飲んだり、マスクを二重にししたり、席を空けて座ったりとご配慮いただきました。最後はお土産をもらい「ありがとうございます」と笑顔でお礼を伝えていました。



桃の節句と言え

ひな祭り

3月3日、館内には立派なひな人形が飾られ、おやつにはひなあられが配られました。夕食は「ちらし寿司」と言いたいところですが、学校の給食がちらし寿司だったため8日の誕生日会の夕食に提供されました。お内裏様とお雛様のかまぼこが飾られた色とりどりのちらし寿司に、みんなが大好きな鶏のから揚げやいちご、シャンメリーが食卓に並び華やかな夕食になりました。いつもと違う味噌を使った赤だしも大好評。「ちらし寿司待ってた」との声もあり時代が変わっても行事食は大切にしていきたいと思えました。

編集後記

緊急事態宣言が延長され、学園の行事も例年通りに実施しにくい状況に園長はじめ職員も頭を悩ませています。今年度最初の育み新

ご慰問・ご寄贈 ありがとうございます。

R 3 . 2 . 15 ~ 4 . 30

敬称略・順不同

- 株式会社河内屋・田所眞紀・大阪府遊技業組合連合会青年部会・柏陽会
- 公益財団法人日本財団会長笹川陽平・手作りボランティア ハニービー
- 公益財団法人資生堂社会福祉事業財団理事長大矢和子・神尾陵太/千明
- 株式会社AOKI代表取締役社長上田雄久・株式会社アカカベ・桂田真実
- ソフトバンク株式会社代表取締役社長宮内謙・大阪柏原ロータリークラブ
- 公益財団法人毎日新聞大阪社会事業団理事長齋藤善也・大木製菓株式会社
- 山崎製パン株式会社大阪第二工場執行役員工場長染谷正行・加藤吉宏
- 岡本株式会社代表取締役岡本哲治・ボランティアグループ雑巾を縫う会
- 株式会社ワイティーエス・株式会社ラミーコーポレーション・岡市洋子
- 大阪いずみ市民生活協同組合豊かな暮らし創造グループ・万代基金・Rays
- 藤原綾子・柏原市民生児童委員協議会・株式会社かんそく社長青木俊之
- OsakaBookOneProject事務局・(株)ランドキャリー尼崎支店部長田中惣
- 読売新聞社 元気/ニッポンプロジェクト事務局・藤原友梨・木多久恵
- 一般社団法人大阪電業協会・大阪府玩具人形問屋協同組合

聞を発行することになりましたが記事が少なく、広報委員会の会議でも色々アイデアを出し合っていて作りました。

今年も皆様に学園の様子をお届けできるように頑張りますので、ご愛読のほどを宜しくお願いします。

令和3年6月吉日

広報委員一同